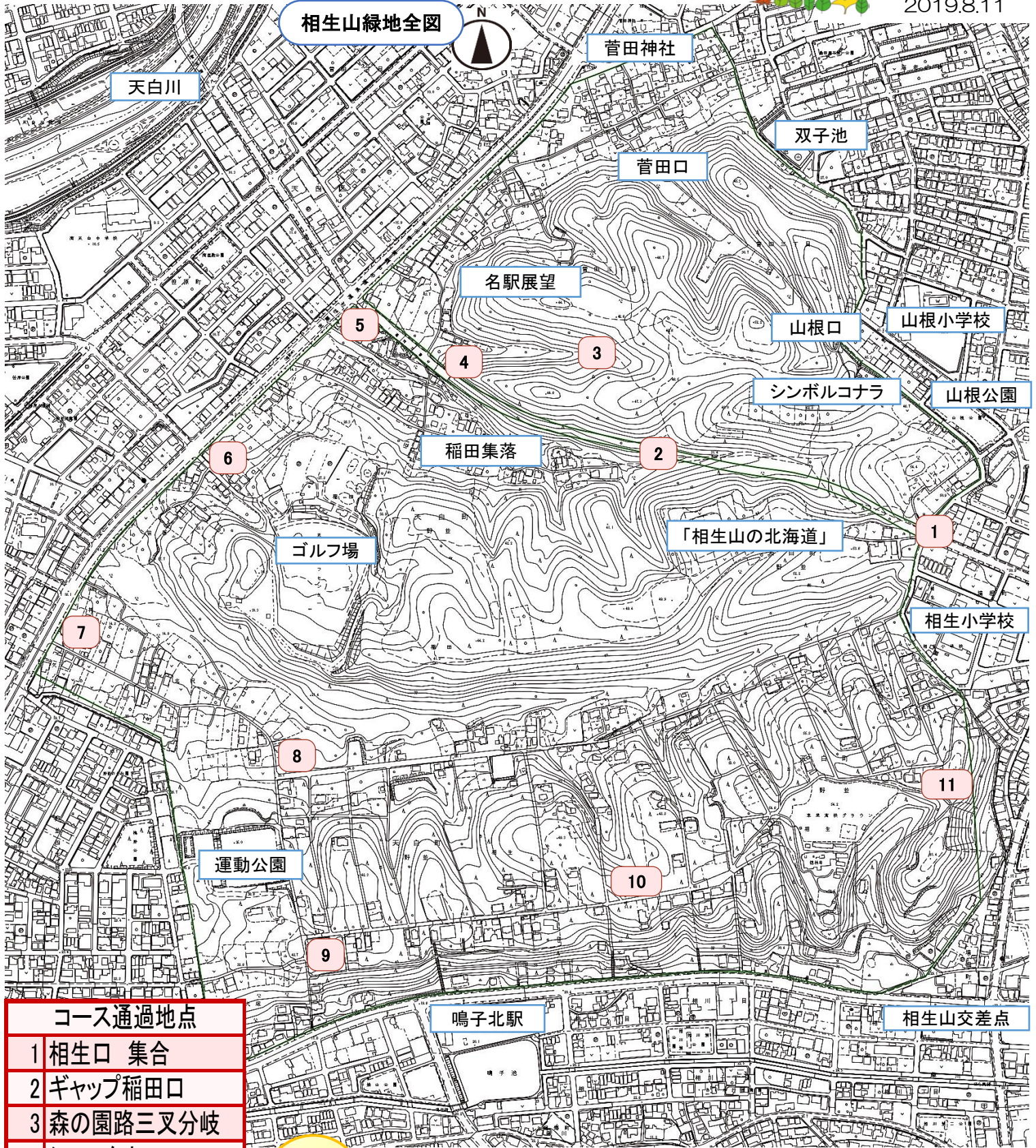


相生山緑地全図



コース通過地点	
1	相生口 集合
2	ギャップ稲田口
3	森の園路三叉分岐
4	シェルタ上
5	下山畑
6	笹原
7	北沢
8	桜並木
9	野並相生住宅地
10	相生山観音
11	徳林寺葉書塔 解散

特別企画

秋の虫とお月見と〇〇と
9月11日(水)相生口 19時集合～21時
雨天中止、予備日ナシ

9月8日(日) 9:30

～ みんな元気?どんな秋に出会えるかな～
ドングリとチョコキリ 花と果実



連絡先(古川)

tell/fax: 052-821-6463

ケイタイ: 080-5124-6463

e-mail: viva_forest@yahoo.co.jp

ホームページ: ラブリーアース → 検索

ブログ: 相生山からのメッセージ

相生山緑地の「道路と公園」についての「説明会」や「意見交換会」に参加してきた、たくさんの仲間の思いを、今月中に開催予定の「検討会議」に反映させるため、この提案書を提出しました。

2019年8月5日

名古屋市長 河村たかし様

相生山の四季を歩く会事務局 田中眞理
ラブリーアース Japan 事務局 古川善嗣
名古屋市南区豊 4-22-10 052(821)6463
<http://lovelyearth.info/>

世界の「AIOIYAMA」プロジェクト推進のための提案書

市民の合意形成を図るために、「なぜ道路をつくらないと決めたのか」の説明を意見交換会などの場で行うよう、提案いたします。

私たちは「道路廃止・緑地追加」の都市計画変更を支持します。

この立場から、「説明会」「意見交換会」に積極的に参加してきました。私たちとは違う意見にも、あらためて注意を傾けています。

これまでのところ、名古屋市は、道路建設から廃止への方針転換の理由を十分に説明できておりません。「緑地基本計画の素案」の中に盛り込まれた、「園路」にしても「ふれあいの丘」にしても、市民への「方針転換の理由説明」を回避するところから生じたものと、私たちはとらえています。

道路計画から半世紀以上経過し、情勢・状況が変化したことを明らかにすること。名古屋市のような大都会に残った樹林地の大切さを語りかけること。そのようにして、地元はじめ広く市民の理解を得ようと努めないのはなぜでしょう。

加えて、道路工事中止から10年以上、市長表明から4年半以上、市民への説明をほとんど為してこなかったことが、多くの混乱を生みだしています。たとえば、市の方針の再転換を憶測したり、行政への不信がつのったりしています。

プロジェクト検討会議発足以降も、幾多の労苦が重ねられてきたと推察いたします。それらをムダにしないためにも、ここで出発点を振り返っていただきたく思います。

「理由は、根本的には、ESDもありましたし、どっちかというと産業優先で道路をバカバカ造ってきた名古屋のまちに、自然を大事にしようという精神でいこうと。それが根本です」

(名古屋市ホームページ「平成26年12月26日 市長年末記者会見」より)

名古屋市に期待したい市民に、正面から向き合ってくださいませよう、お願いいたします。

以上